

整理番号 2019M-104

補助事業名 2019年度 公設工業試験研究所等が主体的に取り組む共同研究 補助事業

補助事業者名 (地独) 神奈川県立産業技術総合研究所

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

神奈川では、県内に立地する研究開発型企业や理工系大学など23機関で「神奈川R&D推進協議会」を組織し、電子機器産業をはじめとする高付加価値型産業の振興を目指しており、当法人も公設試としてその一翼を担っている。「リフトオフ」装置の低コスト化を目的とした光源変更の研究を通じ、一企業ばかりでなく、開発した装置を用いて電子機器を製造する神奈川や日本メーカーのグローバル競争を支援する。

(2) 実施内容

- ① 展示会OPIE出展 (<https://www.opie.jp/>) **【中止：コロナウイルス拡散防止のため】**
2020年4月に横浜で開催される国際会議OPICと同時開催される展示会OPIEに出展する。本事業で開発したレーザーシステム装置のパンフレットを500部配布予定である。
- ② 国際会議OPAL発表 (<https://www.opal-conference.com/>)
2020年5月開催の国際会議 The Third International Conference on Optics, Photonics and Lasers (OPAL' 2020) で発表予定である。 **【延期：コロナウイルス拡散防止のため】**
- ③ 電気学会技術委員会
2020年2月28日に高知工科大学東京サテライトキャンパスで開催された第5回フレキシブルセラミックスコーティング技術調査専門委員会では本研究内容を発表した。



電気学会フレキシブルセラミックスコーティング技術調査専門委員会での話題提供

2 予想される事業実施効果

本事業によりガラス上のフィルムへ積層された各種デバイスを低コストで効率よく剥離できる設備が実現可能となった。従来の高価で大掛かりな装置から多品種少量生産の部品でも過剰設備とならないレーザーリフトオフ装置を供給できるようになった。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・企業HPでの装置紹介 (<http://www.quark-tec.com/products/uvlaser/>)
- ・装置紹介パンフレットおよび展示会用パネル
- ・国際会議発表予稿

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

- ・特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： (地独) 神奈川県立産業技術総合研究所

(チドク カナガワケンリツサンギョウギジュツソウゴウケンキュウシヨ)

住 所： 〒243-0435

神奈川県海老名市下今泉705-1

代 表 者： 理事長 鈴木 邦雄 (スズキ クニオ)

担当部署： 電子技術部 (デンシギジュツブ)

担当者名： グループリーダー 金子 智 (カネコ サトル)

電話番号： 046-236-1500

F A X： 046-236-1525

E-mail： satoru@kistec.jp

U R L： <https://www.kanagawa-iri.jp/>